

## 社会保険労務士法人 アドバンス

・本社所在地	福岡市中央区
・業種	学術研究, 専門・技術サービス業
・事業内容	人事労務、経営法務のサポート
・設立年	2011年
・従業員数	10人
・テレワーク導入部署	全部署
・テレワーク導入対象	5～6人程度



### テレワーク導入のきっかけ

#### 業務の棚卸による生産性の向上とテレワークノウハウの蓄積

テレワーク導入をきっかけにIT化を進め、従業員に業務の棚卸や手順の見直しを促し、生産性を向上させたいと考えた。

また、今後ニーズが高まりそうなテレワークを先行して実施・体験することで、社会保険労務士事務所として、お客様にテレワークを紹介するためのノウハウを蓄積したいと考えた。

### テレワークによる課題解決の方法

#### 全員の「業務棚卸」で業務上の問題点を発見

- ◎ 全員が業務棚卸を行い、作業の重複や無駄、ペーパーレス化が必要な項目を発見
  - 情報を紙とデータの両方で二重管理している無駄が解消された。
  - 複数のリストに分散していた顧客情報をトータルに結びつけるデータベースを検討することにした。
- ◎ 利用が進んでいないグループウェア「サイボウズオフィス9」の活用
  - まずはカレンダーを利用し、お互いのスケジュールや繁忙情報の共有を行うこととした。
  - 共有フォルダを積極的に活用し、情報を安全に受け渡しできるようになった。
- ◎ 社会保険労務士の業務支援システム「社労夢」の活用を拡大
  - 電子申請機能の追加を検討することで、在宅勤務の対象業務を拡大する。





## テレワーク導入に関する感想・評価

### ◆企業担当者の感想◆

#### 業務の棚卸結果を踏まえ、生産性向上につながるテレワークへ

業務の棚卸を実施したことによって、ペーパーレスができるものや、紙とデータの二重管理など、業務効率向上の妨げになっているものが明らかになりました。また、導入しているのに活用されていないツールや、今後導入を進めたいツールなど、たくさんの気づきもありました。

次のステップとしては、ペーパーレスの進行と並行してリモートアクセスツールの利用を検討し、場所を問わずに柔軟に働ける方法を考えていきたいと思えます。

### ◆テレワーク導入のポイント◆

#### テレワーク導入のうれしい副産物

テレワークで業務を進められるようにするためには、ツールを導入しただけではうまくいきません。「紙の書類で仕事を進めている」、「参考資料はキャビネットに保管されている」、「ハンコがないと決裁が進まない」、「周囲の人が何をしているのかわからない」、といった状態では、いくらITツールを導入しても、結局は「会社に来ないと仕事ができない」ということになります。ペーパーレス化、情報共有、仕事の見える化、効率化など、働き方の改革がそのままテレワーク導入の準備につながり、社員全体の生産性の向上にもつながります。

自分がどんな仕事を、どのように進めているのかを洗い出すのはかなり大変な作業ですが、今回は全員でそれに取り組んだ結果、生産性向上への道筋がはっきりと見えてきたのではないのでしょうか。

## テレワーク導入までの道のり

- 2012年 9月18日 啓発員訪問
- 2012年10月11日 コーディネーター訪問、ヒアリング
- 2012年11月21日 コンサルタント訪問、提案書提出
- 2012年12月19日 メールにて棚卸票記入依頼
- 2013年 1月23日 メールにて棚卸票戻り
- 2013年 3月 5日 コンサルタント訪問、ツールの確認
- 2013年 3月19日 メールにて棚卸票の確認結果とテレワークに向けたアドバイスを提出

## 導入ツールとコスト(概算)

### 導入済ツールを活用

- グループウェア ・サイボウズオフィス9
- 社労士システム ・社労夢